

# 自治の力で輝くまち

## 第5次日野町総合計画

### 基本計画(原案)に対するパブリック・コメントの実施結果

第5次日野町総合計画の基本構想（昨年12月議会で可決）に基づき作成した基本計画（原案）に対するパブリック・コメント（意見募集）を、2月10日から3月9日にかけて実施しましたので、その結果についてお知らせします。また、3月議会に上程し、審議いただきました第5次日野町国土利用計画（原案）に対するパブリック・コメント（2月1～15日）の結果についてもあわせてお知らせします。

第5次日野町総合計画基本計画（原案）に対するご意見を10件いただきました。寄せられた意見の一部とその対応状況を紹介します。

基本計画（原案）	寄せられた意見等	対応状況
<p>施策(5) 【障がいの理解を深め障がいの者の生活自立を支援する】 障がいのある人が地域や就労、社会参加などにおいて、自分らしくいきいきと暮らし続けられるよう、障がい福祉サービスを充実します。</p>	<p>障がいの者の医療費助成や生活支援の充実と地域生活支援センターを充実してほしい。</p>	<p>福祉医療費助成や生活支援等について、国や県、県内市町の状況も含め、障がいのある人が、自分らしくいきいきと暮らし続けられるよう、障がい福祉サービスを充実していく表現となっており、原文のままとします。</p>
<p>施策(9) 【安心して暮らせるしくみづくりを進める】 生活困窮、DVや虐待、ひきこもり等に対する、セーフティネットの整備と支援の体制づくりを進め、どのような状況にあっても、人間らしく尊重され、暮らすことができる仕組みづくりを進めます。</p>	<p>施策のめざすべき方向性に「ひきこもり」の記述がある中で、今後の主な取り組みの中に「ひきこもり」に関する取り組みの記述を入れてはどうか。</p>	<p>「ひきこもり本人や家族にひきこもりに関する正しい情報が届くように相談窓口等の周知を図ります。また、ひきこもり支援には、さまざまな分野における関係者との役割や機能を明確にする中で連携し支援します。」の文章を追加します。</p>
<p>施策(23) 【ひととまちをつなぐ地元商業の振興を進める】 消費者ニーズに対応した魅力ある商店・商店街づくりや空き店舗活用などを、地元商店街や商工会等を通じて支援します。</p>	<p>地元消費者へ、地場産の購入や地元商店での購入が地域の活性化につながることをもって啓発する必要があります。</p>	<p>原文の末尾に、「また、地元商店等での購買を促進するため、町内の消費者への意識啓発に努めます。」の文章を追加します。</p>
<p>施策(29) 【循環型のしくみづくりを進める】 施策(30) 【再生可能なエネルギーの利用を進める】 施策(31) 【地球温暖化の防止に取り組む】</p>	<p>消費者に対して、生活・暮らしの中で、*3Rと省エネなど、環境への配慮に対する意識啓発をもっとすべきと思う。</p>	<p>それぞれの施策の中で、3Rへの取り組みや省エネ、エコライフへの取り組みの推進の啓発を明記していますので、原文のままとします。</p>

\*3R：使い捨て商品を使用しないなど、ごみの発生を抑制するリデュース（Reduce）、使えるものは何回も繰り返し使用するリユース（Reuse）、ごみを再生利用するリサイクル（Recycle）の3つ語の頭文字をとって3Rといいます。



# ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ

## 第5次日野町国土利用計画

### 原案に対するパブリック・コメントの実施結果

日野町国土利用計画は、第5次日野町総合計画基本構想をもとに、住民の主体的な学びと行動により、人をはじめ自然、歴史など地域の誇りと恵みなど、あらゆるものをつなぎ共鳴させながら、輝かせ、豊かな生活や活力ある生産が展開される場として、町土の魅力を総合的に向上させることをめざしています。

第5次日野町国土利用計画（原案）に対するご意見を11件いただきました。寄せられた意見の一部とその対応状況を紹介します。

#### 寄せられた意見等

「獣害対策の緩衝地帯としての里山の役割等」の文章は、里山と農地との間を整備することによる獣害防止のことを意味していると思うので、農地に対しての獣害対策と明記してはどうか。

#### 対応状況

「農地への獣害対策の緩衝地帯としての里山の役割等」に改めます。

名神高速道路、新名神高速道路へのアクセス道路（名神名阪連絡道路）に関する表現について、現時点では事業化されていないが、「主要地方道土山蒲生近江八幡線（頓宮鎌掛ルート）」との整合性を図り適切に表現するべきだ。

「名神高速道路、新名神高速道路へのアクセス道路（主要地方道土山蒲生近江八幡線へ頓宮鎌掛ルート）」に改めます。また、「道路の整備や改良に必要な用地の確保を図る」とあるのを「道路の整備計画の進捗に応じ、必要な用地の確保を図る」に改めます。

今までの「防災」に加えて「減災」に配慮した安全、安心な土地利用の考えを盛り込んではどうか。

土地利用の基本的な方向において、「被災時の被害の最小化を図る「減災」の考え方を導入し、安全で安心できる町土利用を進める。」という文節を加えます。

